

(2) 東北



東北地域では、景気は新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に悪化しており、極めて厳しい状況にある。

- ・ **鉱工業生産は新型コロナウイルス感染症の影響により、減少している。**
- ・ **個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に減少している。**
- ・ **雇用情勢は新型コロナウイルス感染症の影響により、弱さが増している。**

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す（ は上方に変更、 は下方に変更）。

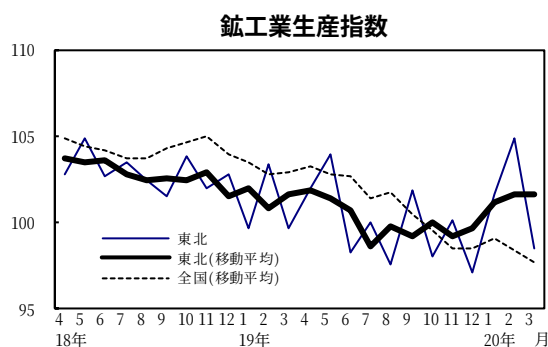
前回からの主要変更点

	前回（令和2年3月）	今回（令和2年5月）	
景況判断	足もとでは、新型コロナウイルス感染症の影響により、景況感が急速に厳しい状況になるなど、弱さがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に悪化しており、極めて厳しい状況にある	↓
鉱工業生産	弱含んでおり、新型コロナウイルス感染症の影響もみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、減少している	↓
個人消費	足もとでは、新型コロナウイルス感染症による影響があり、弱めの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に減少している	↓
雇用情勢	改善	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱さが増している	↓

1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産は新型コロナウイルス感染症の影響により、減少している。

1－3月期には、電子部品・デバイス、コネクタ等が増加した。食料品は、水産加工食品等が増加した。化学・石油製品は、化粧品等が減少した。輸送機械は、船舶等が減少した。生産用機械は、半導体製造装置等が増加した。



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		10-12 月期	1-3 月期	1月	2月	3月
電子部品・デバイス	15.3	1.0	3.7	2.9	1.2	▲4.6
食料品	11.0	▲1.9	3.2	2.3	7.9	▲6.7
化学・石油製品	9.1	3.6	▲1.7	▲2.9	▲0.4	▲5.0
輸送機械	7.9	▲7.9	▲1.3	1.0	3.9	▲3.2
生産用機械	6.7	4.4	21.7	31.1	10.4	▲21.8
鉱工業	100.0	▲1.4	3.3	4.6	3.1	▲6.0

(備考) 1. 2015年=100、季節調整値。東北の最新月は速報値。
 2. 全国及び東北の太線は中心3か月移動平均。
 直近月は2か月平均。

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。
 2. 1-3月期、3月は速報値。

2. 個人消費の動向

個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に減少している。

(1) 地域別消費総合指数（RDEI（消費））

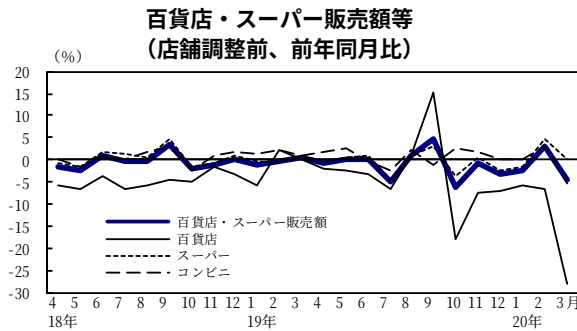
1月は前月比0.0%減、2月は同2.1%減、3月は同3.1%減となった。

(2) 百貨店・スーパー販売額

百貨店は、1月は、衣料品等が減少したことにより、前年を下回った。2月は、衣料品等が減少したことにより、前年を下回った。3月は、衣料品等が減少したことにより、前年を下回った。

スーパーは、1－3月期は、飲食料品等が増加したことにより、前年を上回った。

4月は、休業や営業時間の短縮を実施した店舗がみられた。

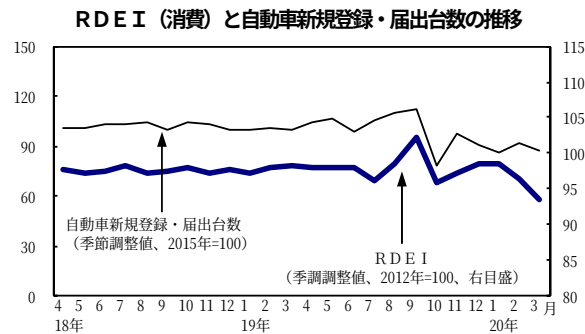


	2020年1-3月	2020年1月	2月	3月
RDEI（消費*1）	▲1.1	▲0.0	▲2.1	▲3.1
百貨店・スーパー(*2)	▲1.5	▲2.2	2.9	▲4.6
百貨店(*2)	▲14.2	▲5.8	▲6.6	▲28.0
スーパー(*2)	1.0	▲1.5	4.7	0.2
コンビニ(*2)	▲0.8	0.2	3.2	▲5.2
乗用車(*3)	▲11.3	▲13.6	▲8.9	▲11.6
(季節調整値) (*3)	▲0.2	▲4.7	7.2	▲5.8

(備考) 1. 季節調整済前期(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

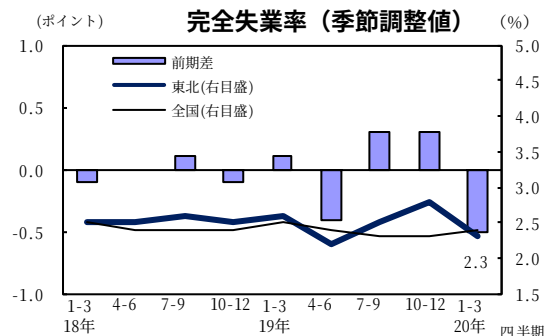
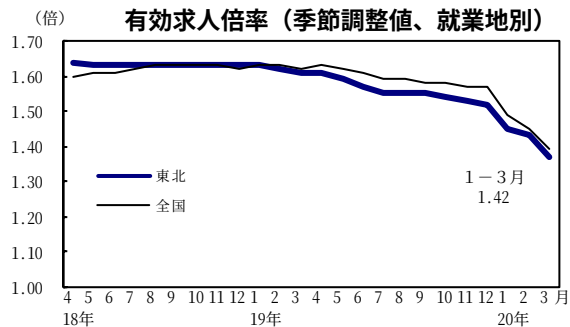
3. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))



3. 雇用情勢

雇用情勢は新型コロナウイルス感染症の影響により、弱さが増している。

有効求人倍率は低下している。完全失業率は前期を下回っている。



(13) 景気ウォッチャー調査（令和2年4月調査）景気判断理由の概要

2. 東北

(◎良、○やや良、□不変、▲やや悪、×悪)

分野		判断	判断の理由
現状	家計動向関連	×	・緊急事態宣言を受けて営業自粛となり、食品売場のみ営業時間短縮、ほかは週末休業を実施していたが、ゴールデンウィーク前から臨時休業へ移行となり、ほぼ商売はできていない（百貨店）。
		▲	・新型コロナウイルスの影響がかなりあり、新規客、既存客共に来客数が激減している（乗用車販売店）。
		□	・新型コロナウイルス関係で外出自粛のため、内食需要が拡大し来客数も週末に集中し買上点数が伸長している。しかし、状況が刻々変化するので今後の状況は見えない状況である（スーパー）。
	企業動向関連	×	・新型コロナウイルスにより、緊急事態宣言が全国に出されたため、店舗は臨時休業となり、現在の売上はインターネットによる通販のみである。そのため4月の売上は8割減になっている（食料品製造業）。
		▲	・新型コロナウイルスの影響は明らかに半導体製品の受注量に表れ始めていて、景気としては下向きであることは明らかである（電気機械器具製造業）。
		□	・客の設備投資は減少傾向にあるが、3か月前と比較して大きく落ち込んでいるとまではいえない（建設業）。
	雇用関連	×	・前年同月に比べて求人数が4割以上減少している。また、新型コロナウイルス関連では、当初は飲食、宿泊からの相談が多かったが、現在は製造業などの他業種で、資材不足や流通の不備による生産量の減少を訴える声が多くなっている（職業安定所）。
		▲	・新型コロナウイルスの影響で求人数が減り、採用を控える企業が出てきている（人材派遣会社）。
	その他の特徴コメント		×：新型コロナウイルスの影響で前月から人出が全くない。来客数がこんなに悪く、人の流れがないという経験は初めてである（商店街）。 ×：新型コロナウイルスの影響により、全国の全店舗を休業させている。Webでの受注においても前年度に比べ95%以上減少している（旅行代理店）。
先行き	家計動向関連	×	・既に新型コロナウイルスの影響でまともに生活すらできない人が増えていることを考えれば、終息したとしてもそれまでの打撃が痛過ぎて外食しようとする余力が当分はないことが予想できる（一般レストラン）。
		□	・周りの状況や報道を見ても、良くなる兆しがみえない。新型コロナウイルスの新薬やワクチンが開発されれば状況も変わるかもしれないが、2～3か月では難しいとみている（観光名所）。
	企業動向関連	×	・さくらんぼ観光果樹園の来客数減による市場への供給増、新型コロナウイルスの流行による店舗売上減等により、さくらんぼの価格が大幅に下落することが予想される（農林水産業）。
		▲	・テレワーク化や学校のオンライン授業検討によって、モバイルルーターやタブレットなどの相談が増えている。ただし、取引先の先行き不安により、受注に至るかは厳しい（通信業）。
	雇用関連	×	・新型コロナウイルスの影響が長引き、終息の見込みが立たないのであれば、景気の低迷は続く（学校〔専門学校〕）。
	その他の特徴コメント		×：新型コロナウイルスが落ち着いて飲食店が平常になるまでは悪い状況が続く。飲食店を辞める店も多いので良くなるとは考えられない（一般小売店〔酒〕）。 ×：前月までの売上は例月の50%まで落ち込んでいた。この先の売上は、各種イベントの中止や新型コロナウイルス感染防止のためスーパーなどのチラシのキャンセルなども発生しており、例月の50%以下になりそうである（出版・印刷・同関連産業）。

(D I)

現状・先行き判断DI（東北）の推移（季節調整値）

